



---

2004年3月期 連結業績概要

2005年3月期 連結業績予想

執行役員 企画・業務本部長  
男澤 一郎



---

# 2004年3月期 連結業績概要



# 連結業績概要

(単位：億円)

	2003年3月期 実績	2004年3月期			
		中間決算時 予想	実績	対前期 増減額	対前期 増減率
売上高	902	897	898	4	0.4%
営業利益	126	131	145	19	14.4%
経常利益	128	140	157	29	22.4%
当期純利益	85	61	63	22	25.7%



# 販売部門別 売上高 / 海外売上高

## 販売部門別 売上高

(単位：億円)

	2004年3月期					
	国内		海外		合計	
	売上高	対前期 増減率	売上高	対前期 増減率	売上高	対前期 増減率
医療用医薬品	708.6	1.6%	91.9	25.3%	800.6	0.9%
眼科薬	627.1	2.0%	90.2	26.9%	717.4	0.9%
抗リウマチ薬	78.6	4.3%	1.0	-	79.6	4.4%
その他医薬品	2.8	37.7%	0.5	-	3.4	41.3%
一般用医薬品	46.5	17.2%	0.1	-	46.7	17.4%
医療機器	8.7	2.8%	0.3	-	9.1	0.4%
その他	10.7	13.8%	31.3	1.6%	42.0	2.8%
合計	774.7	2.8%	123.8	17.7%	898.5	0.4%

## 海外売上高

(単位：億円)

	2003年3月期 実績	2004年3月期		
		実績	対前期 増減額	対前期 増減率
北米	46.4	58.1	11.7	25.0%
欧州	35.0	43.7	8.7	24.7%
その他	23.6	21.9	1.7	7.1%
合計	105.1	123.8	18.7	17.7%



# 連結売上高:増減要因

2003/3 売上高  
902億円



2004/3 売上高  
898億円

## 国内 23億円

[増収要因]  
 抗リウマチ薬 + 3億円

[減収要因]  
 医療用眼科薬 13億円 →  
 一般用医薬品 10億円  
 その他 3億円

うち 抗菌	4.5億円
〃 角膜	+ 7.3億円
〃 緑内障	±0.0億円
〃 アレルギー	4.5億円
〃 フルメトロン	5.8億円
〃 その他	5.5億円

## 海外 + 19億円

[増収要因]  
 米国 + 12億円  
 欧州 + 9億円 →  
 アジア他 2億円

うち クイクシン	+ 5.8億円
〃 アラマスト	+ 2.6億円
〃 ベチモール	+ 5.5億円

うち ロシア	+ 2億円
〃 スウェーデン	+ 2億円
〃 フィンランド	+ 1億円
〃 ドイツ	+ 1億円

うち 中国	+ 3億円
〃 韓国	4億円



# 損益計算書 要約差異 (1)

(単位：億円)

	2003年3月期	2004年3月期		主な増減要因
	実績	実績	対前期増減額	
売上高	902	898	▲ 4	
売上原価	322	318	▲ 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・品目構成の変化 (▲0.5ppt)</li> <li>・コストリダクション (▲0.3ppt)</li> <li>・欧州子会社等の原価増 (+0.5ppt)</li> </ul> (為替要因を含む)
(対売上高比率)	35.7%	35.4%	▲ 0.3 ppt	
販売費・一般管理費	452	434	▲ 18	
(対売上高比率)	50.2%	48.4%	▲ 1.8 ppt	
研究開発費を除く販管費	325	316	▲ 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内 販売促進費減少 (▲3億円)</li> <li>・ " 広告宣伝費減少 (▲3億円)</li> <li>・米国 販売費減少 (▲3億円)</li> </ul>
(対売上高比率)	36.1%	35.2%	▲ 0.9 ppt	
研究開発費	127	118	▲ 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機器の開発中止(Phacor社) (▲6億円)</li> </ul>
(対売上高比率)	14.1%	13.2%	▲ 0.9 ppt	
営業利益	126	145	19	
(対売上高比率)	14.1%	16.2%	2.1 ppt	



## 損益計算書 要約差異 (2)

(単位：億円)

	2003年3月期	2004年3月期		主な増減要因
	実績	実績	対前期増減	
営業外収支	2	12	10	
営業外収益	12	29	17	保険満期受取金 (17億円) チオラ錠製造承認継承代(2億円)
営業外支出	10	16	6	為替差損 (5億円)
経常利益	128	157	29	
特別損益	▲ 29	▲ 20	9	
特別利益	0	6	6	投資有価証券売却益 (6億円)
特別損失	29	26	▲ 3	[03/3]大阪薬業厚生年金基金脱会 (22億円) 投資有価証券評価損 (6億円) [04/3]関係会社整理損 (8億円) キャリア開発支援制度による退職金 (7億円) 米国事業構造改善費 (3億円)
税引前当期純利益	99	137	38	
法人税等	14	74	60	[03/3]子会社清算損計上に伴う 法人税等調整額の発生(50億円)
当期純利益	85	63	▲ 22	



## 所在地別セグメント情報

### 【売上高】

(単位：億円)

	2003年3月期 実績	2004年3月期	
		実績	対前期 増減額
日本	818.5	793.3	25.2
欧州	66.4	88.4	22.0
うち欧州	38.3	46.4	8.1
うち米国	28.0	42.0	14.0
その他 1	17.5	16.7	0.8
合計	902.5	898.5	4.0

### 【営業利益】

(単位：億円)

	2003年3月期 実績	2004年3月期	
		実績	対前期 増減額
日本	206.5	203.5	3.0
欧州	38.1	25.9	12.2
うち欧州	4.5	4.3	0.2
うち米国	33.6	21.6	12.0
その他 1	10.8	5.4	5.4
消去	(30.5)	(26.7)	3.8
合計	126.9	145.2	18.3

1 その他地域の主な売上高と費用は下記の通りです

売上高：合成抗菌点耳薬の受託製造、費用：医療用具の研究開発費

(注) 海外売上高(仕向地別売上高)と区分は異なります



# 貸借対照表

(単位：億円)

	2003年3月期		2004年3月期		
	実績	構成比	実績	構成比	増減額
流動資産	834	56.7 %	912	60.7 %	78
固定資産	637	43.3 %	590	39.3 %	47
資産合計	1,471	100.0 %	1,502	100.0 %	31
流動負債	396	26.9 %	271	18.1 %	125
固定負債	103	7.1 %	195	13.0 %	92
負債合計	500	34.0 %	467	31.1 %	33
資本合計	971	66.0 %	1,034	68.9 %	63
負債資本合計	1,471	100.0 %	1,502	100.0 %	31

## 【主要変動科目】

流動資産：現預金 + 104億円

その他 38億円：未収法人税 21億円

固定資産：建設仮勘定 32億円のうちリースへの振替分 14億円

〃 建物への振替分 15億円

流動負債：1年以内償還予定の転換社債 199億円（2003/9/30 満期償還）

未払法人税等 + 81億円

固定負債：長期借入金 +95億円（転換社債の償還資金として100億円借入）



## キャッシュフロー計算書 要約

(単位:億円)

	2004年3月期 実績	主要項目
現金等 期首残高	250	
現金等 増減額	164	
営業活動によるキャッシュフロー	232	・税金等調整前当期純利益 137 ・減価償却費 45 ・棚卸資産の増減額 13 ・法人税等の還付額 19
投資活動によるキャッシュフロー	53	・有価証券の取得(売却)による支出(収入) [差引] 42 ・投資有価証券の取得(売却)による支出(収入) [差引] 5
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 121	・長期借入れによる収入 +100 ・転換社債償還による支出 ▲199 ・配当金の支払額 ▲17
現金等 期末残高	414	

(注) 上記「現金等」には現金同等物を含んでいるため、貸借対照表の現金・預金とは一致しません



## 設備投資額/減価償却費/リース料

(単位：億円)

	2003年3月期	2004年3月期	
	実績	実績	対前期 増減額
設備投資額	41	28	13
減価償却費	36	39	3
リース料	6	7	1

● 2004年3月期 設備投資 主要項目

・新点眼容器「デンプルボトル」製造ライン  
能登工場：7億円、滋賀工場：1億円

・奈良研究開発センター拡張工事：3億円

● 減価償却費 2004年3月期 増加要因

・奈良研究開発センター一分 (03/3:5.6億円 → 04/3:8.6億円 3億円増加)



---

# 2005年3月期 連結業績予想



## 連結業績概要

(単位：億円)

	2004年3月期	2005年3月期		
	実績	予想	対前期 増減額	対前期 増減率
売上高	898	860	38	4.3%
営業利益	145	140	5	3.6%
経常利益	157	138	19	12.6%
当期純利益	63	80	17	26.6%



# 販売部門別 売上高 / 海外売上高

## 販売部門別 売上高

(単位：億円)

	2005年3月期					
	国内		海外		合計	
	売上高	対前期増減率	売上高	対前期増減率	売上高	対前期増減率
医療用医薬品	702.2	0.9 %	69.3	24.5 %	771.6	3.6 %
眼科薬	618.9	1.3 %	67.9	24.7 %	686.9	4.3 %
抗リウマチ薬	80.8	2.8 %	0.9	-	81.8	2.6 %
その他医薬品	2.5	13.0 %	0.3	-	2.9	16.5 %
一般用医薬品	52.2	12.1 %	0.1	-	52.4	12.2 %
医療機器	7.9	9.5 %	0.2	-	8.2	10.4 %
その他	7.5	30.2 %	20.3	35.3 %	27.8	34.0 %
合計	769.8	0.6 %	90.1	27.2 %	860.0	4.3 %

## 海外売上高

(単位：億円)

	2004年3月期 実績	2005年3月期		
		予想	対前期増減額	対前期増減率
北米	58.1	24.9	33.2	57.1 %
欧州	43.7	44.5	0.8	2.0 %
その他	21.9	20.5	1.4	6.2 %
合計	123.8	90.1	33.7	27.2 %



# 連結売上高：増減要因

2004/3 売上高  
898億円

▲38億円

2005/3 売上高  
860億円

国内 5億円

[減収要因]

医療用眼科薬 8億円  
その他 3億円  
医療機器 1億円

[増収要因]

一般用医薬品 + 5億円  
抗リウマチ薬 + 2億円

うち抗菌 18.5億円  
" 角膜 + 2.6億円  
" 緑内障 0.8億円  
" アレルギー + 11.6億円  
薬価改定影響額 18億円

海外 33億円

[減収要因]

米国医療用眼科薬 23億円  
アジア 1億円  
合成抗菌点耳薬 受託製造 10億円

[増収要因]

欧州 + 1億円



## 損益計算書 要約差異 (1)

(単位：億円)

	2004年3月期	2005年3月期		主な増減要因
	実績	予想	対前期増減額	
売上高	898	860	▲ 38	
売上原価 (対売上高比率)	318 35.4%	319 37.0%	1 1.6 ppt	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬価改定の影響 (+0.8ppt)</li> <li>・米国販売提携の影響 (+0.5ppt)</li> <li>・国内品目構成の変化 (+0.5ppt)</li> <li>・合理化効果 (▲0.2ppt)</li> </ul>
販売費・一般管理費 (対売上高比率)	434 48.4%	401 46.6%	▲ 33 ▲ 1.8 ppt	
研究開発費を除く販管費 (対売上高比率)	316 35.2%	270 31.4%	▲ 46 ▲ 3.8 ppt	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米国販売提携に伴う販売費等減少 (▲40億円)</li> <li>・営業オフィス改革 (▲5億円)</li> </ul>
研究開発費 (対売上高比率)	118 13.2%	131 15.2%	13 2.0 ppt	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑内障関連の欧米での臨床費用増加(10億円)</li> </ul>
営業利益 (対売上高比率)	145 16.2%	140 16.3%	▲ 5 0.1 ppt	



## 損益計算書 要約差異 (2)

(単位：億円)

	2004年3月期 実績	2005年3月期		主な増減要因
		予想	対前期増減	
営業外収支	12	▲ 2	▲ 14	
営業外収益	29	5	▲ 24	[04/3]保険満期受取金(17億円) チオラ錠製造承認継承代(2億円)
営業外支出	16	7	▲ 9	[04/3]為替差損(5億円)、支払利息(3.6億円) [05/3]支払利息(2億円)
経常利益	157	138	▲ 19	
特別損益	▲ 20	▲ 6	14	
特別利益	6	2	▲ 4	[04/3]投資有価証券売却益(6億円) [05/3]固定資産売却益(2億円)
特別損失	26	8	▲ 18	[04/3]関係会社整理損(8億円) キャリア開発支援制度による退職金(7億円) 米国事業構造改善費(3億円) [05/3]固定資産除却損(8億円)
税引前当期純利益	137	132	▲ 5	
法人税等	74	52	▲ 22	[05/3]国内減収、海外増収
当期純利益	63	80	17	



## 所在地別セグメント情報

### 【売上高】

(単位：億円)

	2004年3月期 実績	2005年3月期	
		予想	対前期 増減額
日本	793.3	785.6	7.7
欧州	88.4	70.0	18.4
うち欧州	46.4	47.8	1.4
うち米国	42.0	22.2	19.8
その他 <sup>1</sup>	16.7	4.4	12.3
合計	898.5	860.0	38.5

### 【営業利益】

(単位：億円)

	2004年3月期 実績	2005年3月期	
		予想	対前期 増減額
日本	203.5	169.0	34.5
欧州	25.9	3.8	29.7
うち欧州	4.3	3.7	0.6
うち米国	21.6	7.5	29.1
その他 <sup>1</sup>	5.4	10.7	5.3
消去	(26.7)	(22.1)	4.6
合計	145.2	140.0	5.2

1 その他地域の主な売上高と費用は下記の通りです

売上高：合成抗菌点耳薬の受託製造、費用：医療用具の研究開発費

(注) 海外売上高(仕向地別売上高)と区分は異なります



## 設備投資額/減価償却費/リース料

(単位：億円)

	2004年3月期	2005年3月期	
	実績	予想	対前期増減額
設備投資額	28	28	0
減価償却費	39	38	1
リース料	7	10	3

### ●設備投資 2005年3月期 主要項目

- ・国内外工場設備、研究開発機器の更新等

### ●リース料 2005年3月期 増加要因

- ・新点眼容器「ディンプルボトル」製造ライン 稼働開始

### 【参考】

#### ●新点眼容器「ディンプルボトル」製造ライン 設備投資額累計

(単位：億円)

	00/3 実績	01/3 実績	02/3 実績	03/3 実績	04/3 実績	00/3～04/3 実績小計	05/3 予想	投資総額
能登工場分	1.2	12.3	22.1	4.8	6.8	47.2	0.6	47.8
滋賀工場分	-	1.0	31.3	2.7	1.0	36.0	-	36.0
合計	1.2	13.4	53.3	7.5	7.8	83.2	0.6	83.8

(注) リース契約分を含む

#### ●奈良研究開発センター拡張工事 設備投資額累計

(単位：億円)

	00/3 実績	01/3 実績	02/3 実績	03/3 実績	04/3 実績	00/3～04/3 実績小計	05/3 予想	投資総額
奈良研究開発センター	0.0	0.2	10.9	25.0	2.7	38.9	0.6	39.5

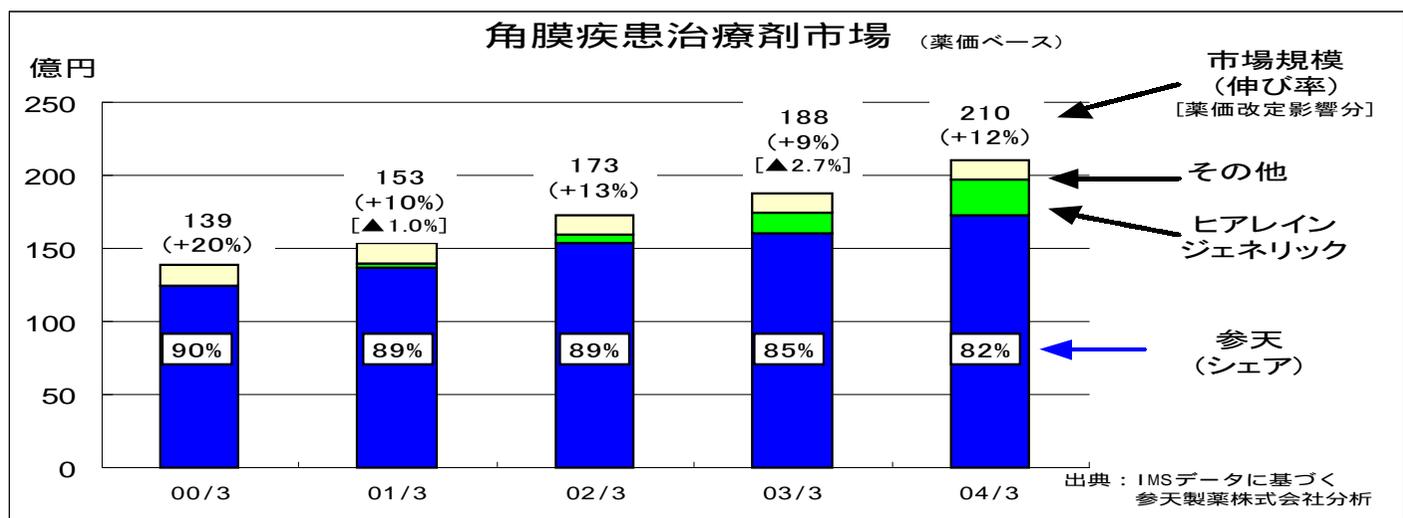


---

## 【参考】



# 国内医療用眼科薬 -角膜疾患治療剤-



## 当社主力品売上高

(単位：億円)

主要品目	2003年3月期		2004年3月期		2005年3月期	
	実績	対前期増減率	実績	対前期増減率	予想	対前期増減率
ヒアレイン	131	8.5 %	138	5.6 %	141	1.9 %

### 市場全体

(04/3) 潜在患者の顕在化により市場は2ケタ増

(05/3) 患者数の増加による市場拡大は継続

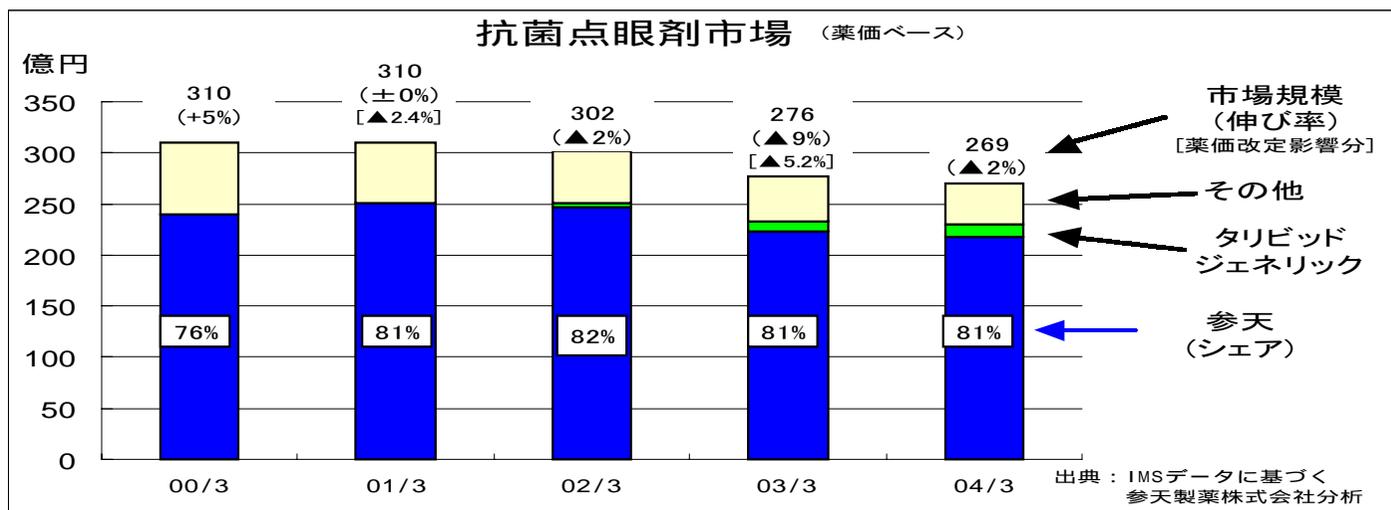
### 当社

(04/3) 各種プロモーションの実施により、ヒアレインは前年を上回る

(05/3) 医療機関に対するドライアイ啓発を継続し、市場拡大を目指す



# 国内医療用眼科薬 -抗菌-



## 当社主力品売上高

(単位：億円)

主要品目	2003年3月期		2004年3月期		2005年3月期	
	実績	対前期増減率	実績	対前期増減率	予想	対前期増減率
クラビット	126	2.9 %	129	2.1 %	119	▲ 7.9 %
タリビッド	55	▲ 22.5 %	48	▲ 12.9 %	40	▲ 17.1 %
2剤合計	182	▲ 6.5 %	178	▲ 2.5 %	159	▲ 10.4 %

## 市場全体

(04/3) 3年連続前年を下回るものの、減少率は回復傾向

(05/3) 薬価改定の影響により前年割れ継続

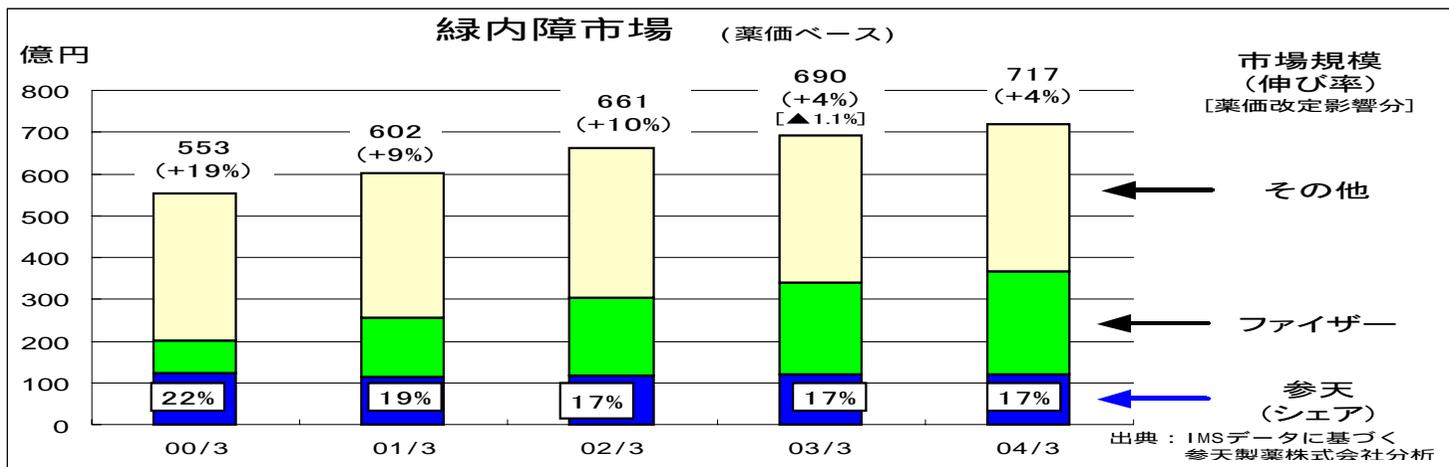
## 当社

(04/3) 各種プロモーション実施やタリビッドからのシフトによりクラビットは増加

(05/3) 薬価改定の影響に加えて、ガチフロキサシン上市の影響を想定



# 国内医療用眼科薬 -緑内障-



## 当社主力品売上高

(単位：億円)

主要品目	2003年3月期		2004年3月期		2005年3月期	
	実績	対前期増減率	実績	対前期増減率	予想	対前期増減率
チモプトール	52	▲ 7.9 %	48	▲ 8.4 %	43	▲ 9.8 %
チモプトールXE	24	15.4 %	26	7.1 %	27	4.4 %
チモプトール類合計	76	▲ 1.6 %	74	▲ 3.4 %	71	▲ 4.8 %
デタントール	14	152.6 %	19	28.0 %	22	15.8 %
ピバレフリン	6	▲ 25.9 %	4	▲ 24.8 %	4	▲ 6.8 %
4剤合計	98	6.0 %	98	▲ 0.0 %	98	▲ 0.9 %

## 市場全体

(04/3) 老人医療制度改革や本人負担増加の影響があったものの、4%の伸びを維持

(05/3) 患者数の増加による市場の拡大傾向は続く

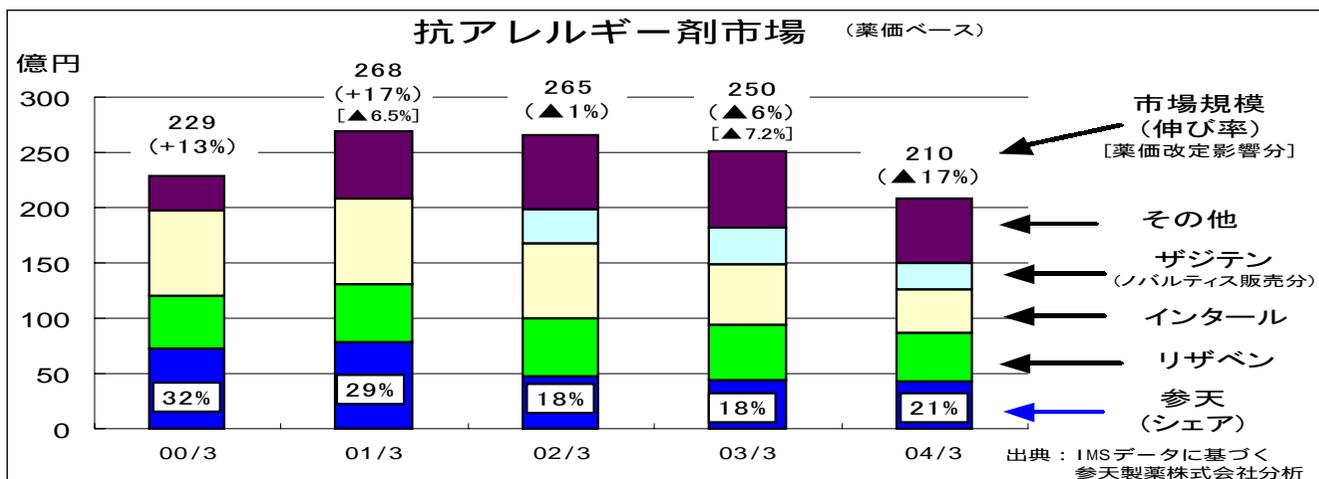
## 当社

(04/3) 血流改善を訴求しデタントールは大幅増加。チモプトール類は若干減少

(05/3) デタントールは正常眼圧緑内障での併用薬のスタンダードを目指す



# 国内医療用眼科薬 -アレルギー-



## 当社主力品売上高

(単位：億円)

主要品目	2003年3月期		2004年3月期		2005年3月期	
	実績	対前期増減率	実績	対前期増減率	予想	対前期増減率
リボスチン	30	36.1 %	27	▲ 9.9 %	38	39.6 %
アレギサール	8	▲ 2.0 %	6	▲ 17.6 %	7	11.6 %
2剤合計	38	25.4 %	34	▲ 11.6 %	45	33.9 %

## 市場全体

- (04/3) 花粉飛散量の大幅減少の影響により市場規模は2ケタ減
- (05/3) 前年の反動により花粉飛散量は増加を想定

## 当社

- (04/3) 2剤合計の売上高は2ケタ減となったものの、シェアは3ポイント増加
- (05/3) リボスチンの通年期での処方増によるシェア拡大を目指す  
シクロスポリンの上市を想定(初年度売上高：2億円)